

第1回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成29年4月28日(金) 14:00～15:36

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第4会議室

3 出席者

- (1) 委 員 中川玄洋委員長、下澤理如副委員長、佐藤匡委員、佐々木ちる子委員、谷口拓史委員、安田里菜委員、有田裕委員、池井輝夫委員、鈴木伝男委員
- (2) 鳥取市 深澤市長、久野地域振興局長、宮崎協働推進課課長補佐、西尾協働推進課市民活動係長、加藤協働推進課主任
- (3) 傍聴者 なし

4 委嘱状交付

5 あいさつ

(市長)

これから、参画と協働のまちづくり、市民活動の推進、自治基本条例の見直し等々について、ご審議いただく。鳥取市は平成20年に多くの市民の皆様に参加をいただき自治基本条例を施行し、平成20年を鳥取市の協働のまちづくり元年と位置付け、様々な取り組みを進めてきている。現在市内61地区にまちづくり協議会が設立されており、それぞれの地域でいろんな特徴、持ち味、魅力を活かしたまちづくりが積極的に進められている。今、人口減少、少子高齢化は、本市はもとより全国の自治体でも大変大きな課題となっており、それらに立ち向かい将来を見据えたまちづくりを進めていこうとしている中で地域でのまちづくり活動がこれからますます重要となってくると思っている。昨年を振り返ってみると、熊本の地震、中部を震源とした地震、今年は33年ぶりの大雪に見舞われた。災害が発生したときには地域での支えあいが大変重要であると私自身改めて感じたところであり、このような中で市民自治推進委員の皆様には中心的な役割を担っていただけている。2年間、どうぞよろしくお願ひしたい。

6 委員自己紹介

7 委員長及び副委員長の選出について

委員長 中川玄洋氏

副委員長 下澤理如氏 を選出

8 議 事

(1) 説明・報告事項

①鳥取市市民自治推進委員会の位置づけと役割等について

②鳥取市の「協働のまちづくり」の取組について

<事務局説明>

(委員)

教育委員会と協働推進課が公民館のことでリンクすることはないのか。どういうところに注目すべきなのか。

(事務局)

説明報告事項について地区の公民館にそれぞれまちづくり協議会ができて地域コミュニティを盛んにしようとしている一方で、公民館は文部科学省の社会教育法に基づいた位置づけのものとなっている。公民館の職員には教育長からの辞令と、協働のまちづくりの推進ということから市長からの辞令も出されている。二つの部署にまたがって位置づけがなされていること、公民館の位置づけが不明確であることが課題である。

(委員)

協働のまちづくりガイドライン、地区公民館の活用方針について我々にいつ見せてくれるのか。

(事務局)

まだ整理できていない、完成した形になる前に相談をさせていただかなくてはと考えている。先進事例も紹介させていただきながら検討していく必要があると考えている。

(委員)

地区の公民館はどのような機能を果たさなくてはいけないかをしっかりした上で、新しい公民館を考えていけばいいと考えている。教育委員会の所管だとか協働推進課の所管だとかあるが、基本は地域が運営するのが大元で、それに対して行政に支援してもらおうというのが本来の姿勢だと思っている。

(委員)

全国的な流れとしては小規模多機能自治も含めて公民館が本来社会教育の場だけではなく、地域で使えるような施設でやって行こうというような流れ。教育委員会を呼んでいただいたほうがいいのかと思う。

(委員)

今の議論は、平成20年度に公民館の管理を行うところを市長部局にということですので片が付いていると思うが、なぜ今さらこのような議論が出てくるのか。

(事務局)

公民館をもっと使いやすいようにできないか色々内部でも検討して、議論をこの委員会

でも深めていただきたいと思っている。今の議論はこれからになってくると思う。

(2) 協議事項

- ①平成29年度の活動方針（案）及び活動計画（案）について
- ②「参画と協働のまちづくりフォーラム」の開催に向けて
- ③市民まちづくり提案事業（市民活動促進部門）審査会委員の選出について

<事務局説明>

(委員)

協働のまちづくりガイドライン、地区公民館の活用方針の作成、これが一番重要だと思っている。スケジュールの中に骨子の審議、中間段階での審議、成案に近い形のもの審議と3段階くらいのスケジュールではめ込んで、事務局もそのスケジュール管理をしながら目標意識を持ってしないといけない。

(事務局)

検討を進めてきていたが、案をまとめる段階になっていない。自治連合会、まちづくり協議会、公民館等と話をする中で、もう少し皆さんと話しながら詰めていった方がいいのではないかという段階にある。意見を踏まえて、どのような進め方が望ましいのか検討していきたい。

9 閉 会